

# 報告 UIST 2006 参加報告

お茶の水女子大学 辻田 眸 椎尾 一郎

19回目の開催になるUIST 2006が、2006年10月15日から18日までの4日間、高級リゾート地として有名なスイスのモントルーで開催された。参加者数は公表されていないが、会場には200人ほどが集まっていた。

UIST (ACM Symposium on User Interface Software and Technology) は、ユーザインタフェースに関する会議としては、同じACMのCHIと並んで知名度とレベルの高い会議である。CHIが多数の参加者が都会に集まるパラレルセッション巨大会議であるのに対して、UISTは少人数のシングルセッション会議であり、リゾートホテルが会場になることが多いこともあり、落ち着いた合宿のような雰囲気の特徴である。今回の会場は、湖を見渡せるカジノの2階のホールで、有名なジャズフェスティバルの会場でもある。

会議では、フルペーパー29件、テックノート11件、キーノート2件、デモ43件、ポスタ20件の発表が行なわれた。フルペーパーとテックノートの投稿数は177件だったので口頭発表の採択率は23%となる。近年のUISTは厳しい採択率であったが、今年は面白い論文を紹介するために、発表割当時間を短くして、より多くの論文を採択したそうである。

オープニングは2005年のチューニング賞を受賞したP. Naur氏の“Computing Versus Human Thinking”と題したチューニング賞レクチャーであった。

口頭発表セッションはPerspectives on Pointing & Picking, Information Landscapes, Sensing from Head to Toe, Browsing & Scrolling, Clever Renditions, Pen & Paper, Projecting the Future, Table Galore, DANGER-Interface Construction Zone, Handwriting & Character Inputから構成されている。

Best PaperはStanford大学のB. Hartmann氏らによる“Reflective Physical Prototyping through Integrated Design, Test, and Analysis”が受賞した。これはディスプレイやスイッチなどで構成される機器の実際に稼働するプロトタイプの実験を容易にする、ハードウェアとソフトウェアの統合開発環境である。

以下で口頭発表の一部を簡単に紹介する。

Microsoft ResearchのP. Baudisch氏らによる“Soap: a Pointing Device that Works in Mid-Air”は、光学マウスを布でくんだ入力デバイスで、手の中でマウスを転がして操作する。Washington大学のJ. Fogartyらによる“Sensing from the Basement”は、家(発表者の自宅)の地下室の上下水道管に、マイクロフォンのついた無線センサネットワークノードを取り付けて、水音から生活している人の状況を取得しようという研究である。Columbia大学のE. W. Ishak氏らによる“Content-Aware Scrolling”は、複数コラムの文書を、一つだけのスクロールバーで閲覧する手法の提案である。Toronto大学のA. Bezerianos氏らによる“Mnemonic Rendering”は他のウィンドウに隠れた場所で動いたアニメーションや動画

を、ユーザの前に現れた時点で見せるインタフェース手法である。Proceedingsの表紙を飾っていたGeorgia Tech.のM. Flagg氏らによる“Projector-Guided Painting”は実際の油絵キャンバス上にプロジェクタで情報を表示することで、絵を描く作業を支援する。日本からは筆者らが“Mobile Interaction Using Paperweight Metaphor”を発表した。これは手のひらを文鎮のように使って紙を押さえる動作をメタファとして利用し、PDAや携帯電話などの編集とスクロールを直感的に切り替えるインタフェースである。

2日目の夜に行われたデモセッションでは、プロジェクタやテーブル型デバイスなどの大掛かりな仕掛けを利用したいくつかのシステムを含む、多数のデモが行われた。ワインや食事も提供され、会場は熱気にあふれ、質疑が活発に行われていた。

3日目のバンケットは学会会場を離れ、レマン湖に浮かぶシヨン城で行われた。松明や暖炉の明かりで照らされた古城の石畳や宴会場は幻想的であった。

UIST 2007は2007年10月7日から10日にかけて米国ロードアイランド州ニューポートで行われる。詳細は、<http://uist.org/>で案内されている。なお、UIST 2006の情報は、<http://www.acm.org/uist/uist2006/>に掲載されている。



図1 会場の様子



図2 シヨン城